

大野っ子だより

一人ひとりを生かし 心身ともに健康で 自ら学ぶ力を育てる

～ 笑顔・元気・チームワーク ～

海南市立大野小学校 第2号 H29. 4. 27

互いに認め合い、運動の楽しさとできる喜びを実感できる体育 ～かかわり合い、高め合う大野っ子をめざして～

校長 西村 充司

新緑がまばゆい季節となりました。41人の1年生も大野小学校での生活に慣れ、友達とにぎやかに語らう姿をよく目にするようになりました。また、入学当初は「しんどい」と漏らしながら登っていた学校坂道も、段々と足取りに力強さを感じるようになってきました。もちろん上学年の子どもたちには、新しい友達もでき、笑顔を輝かせて遊ぶ姿に頼もしさを感じます。



さて21日には、初めての授業参観がありました。

積極的に手を挙げて発言するなど生き生きと躍動する姿、また集中して話を聞き真剣に考えるまなざしに出合っただけのことだうれしく思います。もちろん、時には集中力を切らし、ヤキモキする場面があったかもしれませんが、子どもたちは、新しい学級学年での初授業参観を、ある子は想像以上に緊張して、またある子は普段以上に張り切って終え、ほっとしたことだと思います。これからも、ぜひ子どもが努力したり工夫したり、がんばったり姿をとらえ、ぜひ褒める言葉がけをしていただけたらうれしいです。我々教職員と保護者の皆さんが協力し、褒めて伸ばす1年にしていけたらと願います。



また、その後の育友会総会、学年懇談会へも、本当にたくさんの皆さんに出席していただきました。前鍋嶋会長さん、新有木会長さん、本部役員・専門委員長の皆さんはじめ、大野小学校の保護者の皆さんはとっても協力的で温かいとうれしく常に感謝しているところです。本当にありがとうございました。

さて、平成29年度の大野小学校の研究テーマは、昨年度に引き続き、「互いに認め合い、運動の楽しさとできる喜びを実感できる体育～かかわり合い、高め合う大野っ子をめざして～」です。11月10日には全国学校体育研究会和歌山大会を、他の会場とともにここ大野小学校でも開催します。したがって、体育科を中心教科と置いて研究実践に努めていくことにはなりますが、いずれの教科においても、「互いに認め合い、学ぶ楽しさやわかる喜びを実感できる授業づくり」を心がけていきます。



具体的には、子どもたち同士が必然的に関わり合い、互いの考えを交流する時間をできるだけ取るよう、授業展開を工夫します。交流場面では、間違いや欠点の指摘し合いに陥ることなく、友達の考え方や行動の良さを認め合い評価し合えるような、ポジティブな感受性や学級風土を大切にしていけます。また、常に友達の名前から発言することを重視し、まずは自分の考えをもち、比較しながら仲間の意見を聞き、その意見と同じところや異なるところがわかる

ように発言（「〇〇さんの意見と似ていて・・・」、「△△君の意見とは少し違って・・・」などの話型）ができる子どもの育成を目指します。そうして、集団として意見を繋げながら考え合うことで、学びを深め、あるいは学び合いの質を高め、大野小学校245人の子ども達1人ひとりの「学力」と、「体力」と、そして「人間力」のバランスのとれた成長を目指していきます。